

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	鈍的胸部大動脈損傷に対する fenestrated TEVAR の初期・中期成績 (B21-182)
当院の研究責任者 (所属・職位)	大井 真里奈(北里大学医学部 救命救急医学・病棟医)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・ 目的	鈍的胸部大動脈損傷 (Blunt Thoracic Aortic Injury: BTAI) は、急速減速性の高エネルギー外傷が受傷機転となり生じる致死的な胸部外傷の一つです。BTAI に対する治療は、開胸による人工血管置換術あるいは胸部ステントグラフト内挿術 (Thoracic Endovascular Aortic Repair: TEVAR) が行われます。TEVAR は手術治療と比較して対麻痺などの周術期合併症が少なく生存率も高いなどの理由から現在 BTAI 治療の第一選択となっています。大動脈弓部が固定された解剖学的な特徴から、左鎖骨下動脈 (Left Subclavian Artery: LSA) が分岐した直後の大動脈峡部に BTAI は好発しますが、本邦で TEVAR に使用できる企業製ステントグラフトは、損傷部からステントグラフト中枢端まで 2cm 以上の landing zone が必要となり、使用する際の解剖学的な制約となります。そのような中枢側に十分な landing zone を確保できない、企業製ステントグラフトの解剖学的不適合症例に対して TEVAR を行うには様々な工夫が必要です。当院では企業製ステントグラフトを開窓することで弓部分枝血流を温存した fenestrated TEVAR を行っています。BTAI に対する TEVAR において、fenestrated TEVAR の報告自体が少なく、それぞれの治療法を比較した報告はこれまでにないため、いずれの方法が最適であるかは明らかではありません。本研究は、BTAI に対して fenestrated TEVAR を施行した自験例の初期・中期治療成績を評価することを目的としています。
調査データ 該当期間	2015 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	2015 年 4 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日までに当院で fenestrated TEVAR を施行した BTAI 症例。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2015 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学医学部 救命救急医学・病棟医 担 当 者：大井真里奈（オオイマリナ） 電 話：042-778-8111
備 考	なし